

コンテンツ スイッチング モジュールの URL の大文字小文字の区別

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、URL の大文字と小文字の区別のためにコンテンツ スイッチング モジュール (CSM) を設定する方法について説明します。このドキュメントの設定で URL を定義します。

前提条件

要件

この資料の例はそこにあると、少なくとも仮定します:

- 基本 CSM 設定
- Vserverの設定の下の少なくとも 1 slb ポリシー 設定設定はポリシーマップをこのように参照する必要があります:

```
vserver vserver_name virtual ip_address tcp www persistent rebalance slb-policy policy_name  
inservice
```

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

デフォルトで、CSM で定義される URL は大文字/小文字の区別があります。

ポリシーマップを定義するこの例を参照して下さい。例はユーザが定義する url-map およびサーバファームを両方参照します:

注: サーバファームにこの例で名前 SFARM1 があります。

```
map LOWERCASE_ONLY url
  match protocol http url /test*
```

```
policy LOWERCASE_ONLY
  url-map LOWERCASE_ONLY
  serverfarm SFARM1
```

http://www.domain.com/Test.html を入力する場合、エラーは返されます。資料が見つけないことエラー状態。エラーは大文字 T を入力したので、発生します小文字 t よりもむしろ。CSM はエラーという結果に終る CSM がクライアント GET 要求を受け取る直後にリセット (RST) を送信します。

ケース無感応に関しては、大文字および小文字の考えられる組み合わせを割り当てるために CSM を設定して下さい。次に例を示します。

```
Test
TeSt
TEST
```

この場合、名前 ANY_CASE の別のユーザが定義する url-map を参照するこのポリシーマップを考慮して下さい。このポリシーマップはケース無感応を可能にするのに正規表現を使用します:

```
map ANY_CASE url
  match protocol http url /[T|t][E|e][S|s][T|t]*
```

```
policy ANY_CASE
  url-map ANY_CASE
  serverfarm SFARM1
```

これら二つのコンフィギュレーションの後者は正規表現を定義します。正規表現は大文字のあらゆる組み合わせを可能にし、文字の他のどのシーケンスにも先行させることができるワードのための小文字は「テストします」。ワイルドカードの付加は続くために (*) 文字の他のどのシーケンスも表示します。

関連情報

- [Cisco Content Switching Module ハードウェアサポート](#)
- [ソフトウェアダウンロード- Cisco Catalyst 6000 Content Switching Module](#) ([登録ユーザのみ](#))
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)